



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

【起死回生】(きしかいせい)

絶望的な状態から持ち直す様子



Lend a Hand

手を貸そう

2003-2004年度 国際ロータリーのテーマ

会員増強拡大月間

第802回 平成15年 8月27日(水)

【本日のプログラム】

- | | |
|---------------|---|
| 1. 点 | 鐘 |
| 2. ロータリーソング | |
| 「それでこそ ロータリー」 | |
| 3. 四つのテスト唱和 | 事 |
| 4. 食 | 事 |
| 5. 会長の時間 | 事 |
| 6. 幹事報告 | 告 |
| 7. 委員会報告 | 告 |
| 8. フォーラム | |
| (会員増強月間にあたって) | |
| 9. 点 | 鐘 |

次回予告

- ★ 9月3日(水)
会員卓話
佐藤高元 君
9月セレモニー
理事・役員会
- ★ 9月10日(水)
ロータリー情報

佐土原ロータリークラブ

例会日	毎週水曜日(12:30~13:30)	会長	中武 幹雄
例会場	石崎浜荘 ☎0985-73-1913	副会長	林 厚雄
事務局	宮崎課佐土原町大字下藤岡3887-17	幹事	梶田與之助
	☎880-0212	会計	岩切 正司
	TEL及びFAX 0985-73-7170	会報委員	池田 仁志

第801回例会記録 (2003. 8. 20)

☆会長の時間

会長 中武幹雄君

皆さん今日は。本日は第801回の例会です。ビジターをお迎えしました。西都RCの上杉兼祺君です。ようこそ！

3日後の8月23日は「処暑」です。暦の上では暑気が収まり、涼風に秋を感じる頃、とあります。毎日暑くて、それを中々感じる事が出来ませんが、やがて涼しくなるのでしょうか。

先週の土曜日、都城で職業奉仕委員長会議が催され、委員長の吉田君が出席されましたが、ご苦労様ございました。後程、報告があると思います。又、10日には本年度初めての親睦会が当石崎浜のピアガーデンで、太田委員長の計らいで計画され、12名の出席で楽しく、有意義に過ごす事が出来ました。

次回はまだ多数の出席を頂き、楽しいものに致したいと思っております。

先々週の例会では、会員増強についてお話させて頂きました。今日は「ロータリーの綱領」について自分なりに勉強した事を述べさせて頂きます。友の1ページを開きますと「ロータリーの綱領」が記載されています。「ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹、育成することにある」この前文は目的であり、以降の4項目が、その目的を達成する為の付帯事項である事を留意して頂きたい。ロータリーの根幹は職業奉仕にあります。本文に続いてロータリアンが育むべき奉仕と、学んだ事を実践する具体

例が4項目に凝縮し、示されています。

第1項：奉仕の機会として知り合いを広めること—過酷な自由競争の中で、心から打ち解け合って何でも相談出来る様な親しい仲間を作ろうと云う発想から出発し、1人1業種の職業分類制度を採用されています。親しくなった余録として、お互いの事業を利用し、発展させようという物質的総合扶助が生まれました。顔見知りの人達にどんどん入会してもらい、結果として、奉仕の機会を広げる事によってロータリーの存在価値を高めようとする先人の心を窺い知る事が出来ます。知り合いとは見知らぬ人と親友との仲間の間柄のその人であるとありました。

第2項：事業及び専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという意識を深める事。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕する為に、その業務を品位あらしめる事。

ロータリーの理念を自らの事業に適用し、その結高い職業倫理を持ち、事業が継続的に発展する状態を他の同業者から見れば必ず、その職業態度を見習うに違いありません。ロータリーの職業は利益を得る為だけの手段ではなく、その職業を通じて社会に奉仕する為の天職であると述べています。仮に、全世界の靴屋の会合が開かれ、靴に関連する職業を持つ人々が集まったと仮定します。その人達に、何故靴屋をしているか質問すれば、殆ど人は、儲ける為と答えます。5%の人は、自分の仕事が他の人の為になるから、と答えるかも知れません。仮にその場に天変地異が起こって、集まった人達が全員

死んでしまったらどうなるでしょう。暫くは、何の影響も無いかも知れませんが、やがて全世界の人達は、靴を履く事が出来なくなってしまう事は確実です。そこで、始めて5%の人達が答えた、職業を通じて奉仕すると云う言葉の意味が理解出来るのではないのでしょうか。

第3項：ロータリアン全てが、その個人生活、事業生活及び社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。この項目が最初に制定されたのは、1922年のロスアンゼルス大会だそうです。前回のべました、「入りて学び、出て奉仕せよ」実践活動は例会場の外の世界である。ロータリーに於ける奉仕活動は個人が原則ですから、先ず、個人生活そして家庭生活です。職業生活に適用したものを国際奉仕と表現しています。

第4項：奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する事。とあります。初期のロータリーの思想の中には国際奉仕という概念はありませんでした。国際間の理解と親善と平和を推進する事を綱領に加えようとしたのですが、その提案は採択されませんでした。しかし、1935年メキシコシティ大会で採択され、現在に至っているという事です。貧困、飢餓が原因となって、地域的な紛争が起り、これが国家間の戦争に拡大し、これを未然に防ぐために、ロータリー財団の資金を有効に使って、飢餓、貧困、識字率向上、失明救済、エイズ予防などのWCS活動をする事は、結果的に世界平和に寄与する事になるというのが、現在のRIの考え方だそうです。

☆幹事報告

幹事 梶田 與之助 君

例会変更通知はありません。

8月27日(水)の炉辺会合の出席者の確認を致します。会場=梶田会員宅
池田仁志君(新録) 水浦達博君
鬼塚圭司君
藤堂孝一君(7Dバイザー)
垂水敏雄君
柳田光寛君(新録・吹録)
以上の方はご出席よろしくお願ひ致します。

★ 野菜のお話 ★

【トマト】

トマトは1個で約1日のビタミンCの必要量が摂れます。又、胃粘膜の炎症を鎮め、胃もたれ、胸焼けに活躍する消化促進野菜です。県内での主な産地は、尾鈴農協(豊、楠)、宮崎中央農協(杵、紅、蔵)等があります。

☆出席報告

副委員長 岩下 廣美 君

会 員 数	28名
例 会 出 席 者	20名
出 席 率	71%
メークアップ者数	4名
修 正 出 席 率	86%
欠 席 者 名	藤司、鬼塚、近藤、水浦、太田

☆職業奉仕委員会

委員長 吉田 康一郎 君

8月9日(土)に都城(峠)にて職業奉仕委員会が開催されましたので、私が参加致しました。その席で協議された事を簡単に報告致します。

各クラブの今年度の職業奉仕委員会としての、予定と計画等について、地区委員長の高山義則君のアドバイスがありました。

各クラブとも、色々取り組んでいる話が盛んに出ましたが、その中で、当クラブも是非取り入れたい事項がありました。昨年までは職場訪問を年1回行っておりましたが、今年度は2回にしたいこと。それにより、会員増強にもつながる事があるからです。

実は早速、9月に1ヵ所予定しております。訪問先は、佐土原町の工業団地内にある、トーフク商事で、既に社長の承諾を得ております。日程は9月17日(水)を予定しております。

他にも他クラブの活動等を参考にしながら、職業奉仕委員会としての活動を展開したいと思っております。

親睦委員長の太田君が欠席されましたので副委員長の私から、お礼とお知らせを致します。先日第1回の親睦会が当石崎浜荘のビアガーデンで行われ、12名の参加を頂き、楽しい一時を過ごす事が出来ました。ありがとうございました。会費は1人当たり¥2,500になりましたので、よろしく願い致します。それから、歯車会ゴルフコンペの件ですが、こちらは9月26日(金)に高鍋RC担当で開催されます。詳しくは後程、案内が来ると思っておりますので… 沢山のご参加をお願いしたいと思います。

☆会員卓話

岩下 廣美 君

私の携わる建設業を取り巻く厳しい状況について本日はお話させていただきます。

近年、一部を除くどの業種も厳しい状況である事は否めませんが、特に我々建設業は日増しに悪化の一途を辿っております。特に宮崎県は公共事業の依存度が高く、このままだと出口の見えない状況は益々強くなってまいります。どうしたら、5~6年前の良い状態に戻るのでしょうか。大いに期待しておりました小泉首相が就任して2年になるのに、経済は改革どころか、我々には悪い方へ悪い方へと向かっているとしか言い様がないと思うのは、一人、私だけでしょうか。

5~6年前の配管工事の公共事業の単価は¥18,900、今年は¥13,900、実に27.9%のDownであります。民間の会社はこうした苦しい経営を強いられております。毎年我々建設業には経営事項審査というのがあり、点数が低くなりますとランクが落ちてまいります。幸い私共の会社は今迄はAランクでしたが、ランクが下がると少ない受注しか貰えません。従って社員の給料を減らしたり、社員数を減らしたりしなければなりません。1度ランクを下げてまいりますと2度とAランクには戻りにくい状況があります。

昔は民間の仕事が多く、忙しくて公共事業には目を向けない時期もありましたが、今はその民間の仕事の急激な落ち込みで、非常に厳しい経営をしているのが現状であります。

昨年は公共事業を頂き、何とか切り抜けましたが…

早く民間の方々が家の新築や増改築が出来る経済状況になる事を祈るしかありません。

本日は建設業のお話をしましたが、全ての産業にデフレの影響は深刻に響いておると思っています。

宮崎県も新しい知事を迎えました。

何とか新知事に期待したいと思っております。

取り留めのないお話になりましたが、これで私の卓話を終わります。